

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型サービスの意義を全職員で確認し、理念を構築している。理念を事業所内に掲示し、申し送りの際に読み上げ、意識付けに努めると共に日々利用者に関わる中で理念の実践を意識してケアに取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行したことにより、自治会主催の行事(運動会・夏祭り等)が再開となっている。行事へ参加することでコロナ禍以前のように地域と繋がりながら暮らし続けられるよう支援に努めている。また、近くのこども園との交流も徐々に再開している。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回会議を開催し、利用者の状況やホームの活動状況を報告している。町の担当者より助言を頂いたり、自治会長や児童民生委員より事業所と地域との交流促進のための助言を頂きながら、サービス向上に活かしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、広報誌を通してホームの様子や取り組みを伝えている。また、運営推進会議では会議の構成メンバーとして協力して頂くと共に助言も頂いている。また、市町村が開催する研修会にもできる限り参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。			

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内で高齢者虐待防止関連法に関する研修を開き、全職員が理解していくよう努めている。また、日常の介護場面における言動が虐待に当たらないか振り返りに努めている。法人内の安全委員会(毎月開催)にて日頃のケア等が身体拘束に該当しないか検証を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」に関する外部研修があれば、参加した方がよいと思う。 ⇒今後、開催されれば、勤務状況に応じて参加を検討する。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内で高齢者虐待防止関連法に関する研修を開き、全職員が理解していくよう努めている。また、日常の介護場面における言動が虐待に当たらないか振り返りに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内で虐待にあたる行為はなかったか等、運営推進会議内で報告してはどうか？ ⇒今後、報告を行っていく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内で権利擁護に関する研修を開き、全職員が理解していくよう努めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時にサービス全体の内容を丁寧に説明し、利用者様やご家族の不安や問題点に対して十分な説明を行い、了承を得た上で手続きを進めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に事業所内や北栄町の相談窓口について紹介を行っている。また、職員に直接言いにくいこと(苦情等)がある場合は北栄町等に相談が可能であることを説明している。利用者様には日々の関わりの中や入居者会で意見や要望を出して頂いている。ご家族には面会時や併設施設の玄関に設置している「ご意見箱」を通じ、意見を頂いて日々のケアや運営に反映させるよう努めている。コロナ感染拡大防止のため、昨年引き継ぎ家族会の開催は中止の対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ご意見箱」に寄せられた意見を公表してもよいのではないかと？今までに苦情はなかったか？ ⇒実際に意見を頂戴していないため、苦情等もない状況。家族より何か気がかりな点等があれば、来所時や電話等で確認され、その都度対応している。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回フロア会議を開催し、意見や 提案を協議し、反映させている。ま た、日々の気付き等は送りノート や話し合いの機会を設け、意見を出 し合い、ケアの統一や質の向上につ ながるよう取り組んでいる。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適宜職場巡回を行い、各職員の 日々の勤務状況の把握に努めると 共に研修会等への参加の呼びかけ を行っている。また人事考課等を通 じて各職員の目標の達成状況、希 望、意見等を把握し、各自の向上心 につながるよう努めている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は具体的にどのように各職員と 関わっているか？ ⇒事業所に立ち寄った際に各職員の勤 務状況や意見徴収を行い、助言を行っ ている。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内では年間業務計画内に研修 計画を盛り込み、研修機会の確保を している。法人外の研修については 研修案内を掲示し、積極的な参加に 努めている。研修後は伝達の機会を 設け、内容を共有している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人外の研修への参加はどれくらい か？ ⇒今年度は外部評価実施日時点で2 名。今後、勤務状況に応じてできる限り の参加を検討していく。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	グループホーム相互研修を通じて、 交流する機会を作り、他施設の良好 な取り組みを参考にすると、サービス の質の向上に取り組んでいる。ま た、町主体の地域密着型サービス事 業所連絡会（認知症ケア向上連絡 会）で開催される研修やイベントに参 加し、交流を図っている。但し、昨年 同様に今年も新型コロナウイルス感 染拡大防止のため、相互研修は実 施されていない。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の出来る事や得意分野で 力を発揮して頂き、お互いに支えあ って、和やかな生活ができるような場 面作りや声掛けに配慮している。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の思いを大切に、地域の行事への参加等で家族とのつながりが継続できるように支援している。また、居室にもご家族や面会者様との写真を飾り、記憶に少しでも留まるよう配慮している。但し、昨年同様に今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、面会制限や地域の行事への参加は中止している。			
----	------------------	---	---	---	--	--	--

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で声を掛けたり、アンケートの実施や入居者会の開催を通して利用者様一人ひとりの思いを把握するよう努めている。意思疎通が困難な方は表情や身体の動きから思いを推測したり、利用者様の視点に立って職員で意見を出し合い、話し合っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様、ご家族の思いや意見を反映させるよう努めており、一人ひとりの状況や希望に向き合いながら介護計画を作成している。月初めに行うモニタリングでは、計画の実施状況を確認している。見直しは6ヶ月ごとを基本とし、状態変化した時は、終了する前であっても検討・見直している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意見はどのような形で聞いているか？ ⇒直接、利用者本人に確認を行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、排泄等身体的状況と日々の暮らしや様子、状態変化等をケア記録に記載し、職員間で情報共有しながらケアを行っている。個別の記録を基に介護計画の見直し、評価を実施している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に毎月発行する広報誌内で1ヶ月の様子を報告していることを追加報告する。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様、ご家族の状況に応じて通院や特別な外出等、必要な支援は柔軟に対応するよう努めている。また、医療連携体制を活かし、医療処遇を受けながら生活の継続を支援している。また、併設施設の支援により、イベントへの参加や外出支援等個別での満足度を高めるよう努めている。但し、昨年同様に今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご家族との外出は中止している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	民生児童委員、公民館、こども園、理容所、消防署等の地域資源を把握し、活用すると共に地域の方々の協力を得ながら安全でより豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様やご家族が希望とするかかりつけ医に受診、通院は主に職員が同行しているが、専門医への受診はご家族の協力が得られる方もある。受診結果はその都度、家族に連絡し、状態を伝え相談をしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は、支援方法に関する情報を医療機関に提供し、病院関係者との情報交換や相談に努めている。また、ご家族とも情報交換しながら回復状況等の把握に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期の対応方針を定め、事業所が対応できるケアについて説明し、重度化、看取り支援、急変時の対応について、新規入居時及び終末期に利用者様・家族に意向確認を行っている。関係者が密に連携を図り、共にチームで支援できるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期の希望は途中で変更できることは利用者・家族に伝えているか？また、その旨書面で利用者・家族に確認しているか？ ⇒新規入居時に口頭で説明を行っている。その際の希望をデータで保存している。途中で希望が変更できることは書面

							では通達していなかったため、今後は意向確認書にその旨記載する。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	骨折、発作、のど詰まり等の対処方法について職員間で確認しあう機会を設けている。緊急時にも慌てず、確実かつ適切な行動が取れるよう、手順を取り決めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回(日勤帯、夜勤帯を各1回)、利用者様と共に消防避難訓練を実施している。避難経路の確認等の訓練を行っている。内部研修にて非常災害時対応の勉強会を開き、防災意識を高めている。地区の自衛消防団と水利の確保及び避難後の見守りの協力体制に関しては協議中である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内での接遇研修を行い、職員の意識向上を図るとともに日々の関わり方でも利用者様の自尊心や羞恥心に考慮した対応を心掛けている。全職員が個人情報保護法の理解に努め、情報漏洩防止の徹底を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な1日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方だけではなく、利用者様一人ひとりの体調や状態に配慮しながら、その日その時の気持ちを尊重して柔軟に支援するように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養バランス等を考慮し、併設施設内の給食委託業者より食事サービスの提供を行っており、利用者様と職員が食事の準備をすることは行っていない。但し、できる方に関しては食後の食器の片付けをしてもらっている。また、イベントにてお菓子作りを		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				企画し、作る・盛り付ける感覚を味わってもらっている。			
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、一日を通じ確保できるよう、全職員が常に意識しながら関わっている。一人ひとりの状態に合わせて水分確保のため、嗜好や形状に工夫し、食が進むよう個別の支援をしている。また、主治医指示の下、管理栄養士のアドバイスを受けている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の気持ちに配慮しつつ、一人ひとりの力に応じた口腔ケアの介助を行っている。就寝前は義歯洗浄を行い、毎日洗浄剤を使用して清潔にしている。うがいが出来ない方に対しては歯磨きティッシュやスポンジブラシを使用し、口腔内の清拭を行っている。歯痛や義歯調整等が生じた場合は家族へ訪問歯科での検診が可能であることを説明している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活用し、利用者様一人ひとりの排泄習慣の把握に努め、トイレの声掛け、誘導を行っている。また、一人ひとりの排泄サインの把握に努め、失敗時等も羞恥心に配慮しながらさりげなく支援している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医の指示の下、利用者様の希望や必要に応じて臨機応変に対応するよう心掛けている。利用者様個々の状態に合わせて、安全に安心して入浴を楽しめるよう支援しており、必要に応じて足浴の対応も行っている。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の活動を促し、生活のリズ ムを整えるよう努めている。また、 一人ひとりの生活習慣やその時 の状況に応じた対応を心掛けて いる。寝具の調節や部屋の空調 にも配慮し、就寝前や寝つけ ない時には飲み物等を提供し、 入眠し易い環境になるよう配 慮、工夫をしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が薬の内容を把握するよう に努めている。服用時には一人 ひとりに応じた対応で確実に 服用できるよう支援し、服薬 チェックを行っている。薬の 処方や用量の変更により、利 用者様の状態変化や服薬困難 な様子が見られるときには医 師に相談している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの情報提供も参考 にしながら、利用者様一人 ひとりの生活歴を活かし、持 てる力を発揮して頂きながら、 役割や張り合いを持って頂 けるよう、取り組んでいる。ま た、利用者様の楽しみ事等を 把握し、生活の中に取り入れ、 気分転換を図っている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるよう支援 している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <u>ほとんどできていない</u>	利用者様の重度化が進み、体 調の変動が大きく、外出支 援がしにくい状況下にある。 なるべく戸外に散歩に出掛け るよう努めているが、難しい 場合は施設内を散歩している。 個人より外出希望があった 場合、なるべく外出できるよう 支援に努めている。また、併 設施設との合同イベントに参 加する等、一人ひとりの希望 に応じて対応している。但し、 昨年同様に今年も新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、併設 施設との合同イベントや個人 的な外出支援は行っていない。			

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金の使用については、利用者様一人ひとりの力や希望に合わせた対応を心掛けている。利用者様の希望を基にご家族にも相談しながら職員と一緒に買い物や行楽に出掛け、お金を使える機会を持つように支援している。但し、昨年同様に今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個人的な外出支援は行っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望に応じ、電話等でご家族等とやり取りが出来るよう支援している。手紙のやり取りについては希望がなく、行っていない。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の気持ちになって、共用空間の安全や居心地良さを点検し、整理、整頓に努めている。心地良い音楽や行事ごとの飾り付け等で五感に触れながら季節感を感じられる工夫をしている。また、毎月、チェック表を用いて安全点検を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の思いを傾聴し、意向に沿えるよう支援に努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前にご家族等に生活歴等の情報を確認し、状態に応じたケア・支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期受診、日々の健康チェックや環境整備、月1回の安全点検を実施し、日々のケア・支援に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	極力在宅時の生活スタイルが継続できるよう支援に努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様・ご家族より自宅で使用していた物や思い出の品等の持参要望がある際は持参してもらい、自室で利用してもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様・ご家族より希望があった際は対応するよう努めている。但し、昨年同様に今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出を伴う行事等への参加はできていない。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前にできること・できないことを把握し、利用者様の能力に沿った役割や楽しみごとの提供を行うよう心掛けている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事作業等の活動、日々の補水時間やレクリエーションで他者との交流の場を設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から利用者様の思いに沿った交流はできていない。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とは馴染みの関係が構築されており、安心・安全の生活ができている。地域との交流はコロナが 5 類に移行したことにより地域行事が再開されている。参加することで地域との交流も少しずつ増えている。	コロナのためか施設内に閉じこもっている感じがする。これからは家族やボランティアの協力を願ってでも散歩、買い物、園児・児童やデイサービス利用者との交流等の楽しみがあるとよりよい日々を送ることができるのではないかと思います。⇒状況を見ながら、交流や外出の機会を増やしていければと思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	